

今回は、組織の中でも総務の重要な 4 部門についてお話しします。総務には①採用②教育③営業④会計の機能が求められます。これら 4 部門が良好に回る事で専門職の方々は、業務に専念する事ができます。今回は、その中でも、教育についてお話しします。

人材には、“人財”“人材”“人在”“人罪”の 4 つがあるといわれています。当グループに就業いただいている方々は、全て“人財”になり得る能力を備えています。そのために、グループとして“人財”になっていただくような教育システムを創ります。

具体的には、以下の 2 本柱を基本とします。

- 1) やはり社会人の基本である、待遇が第一です。
- 2) それらを基礎に、さらに専門職としての技術・専門知識の向上をはかります。

介護職であれば、ヘルパーから始まり、パワリハ基礎研修、学習療法士、介護福祉士、そしてケアマネージャ等の資格取得を目指してください。それ以外にも、各種研修・学会発表も取り組みましょう。

看護職であれば、さらに認定看護師を目指すもよし、他の資格の取得もお勧めです。やはり、資格以外にも、研修参加・学会発表・投稿・講演もお勧めです。なぜならこれらは第 3 者の評価が加わるからです。特に、学会誌への投稿は、いくら内容が良くても評価されなければ、掲載されません。独りよがりにならない良い経験になると思います。

幸い、ケアマネやセラピストは行政による研修制度が充実していますので、積極的な参加を義務とします。

評価には、自己評価と他者評価があります。自己評価が高い人ほど、評論家になる可能性が高く、聞いてない、教えてもらってないなどの不平不満が表れます。皆さん、評論家にはならないで下さい。そのために、グループとしては、第 3 者による評価を基本とします。

ところで、勉強・教育といっても、一人では、なかなかできないものです。しかし、例えば、「学生実習で学生が来る」「新人に教えなければならない」「他施設からの見学者が来る」「他地域に同じサービス事業所ができた」と、否が応でも勉強するものです。そして結果として実力が上がってきます。

今後は、積極的に学生実習、新人雇用、施設見学を受け入れていきます。ストレスに感じることなく、自己研鑽の場としてください。

- 1) 総務の重要な 4 機能を記載ください。

( ) ( ) ( ) ( )

- 2) 教育システムの 2 本柱を記載ください

( )  
( )

- 3) 自己評価が高い人の特徴は？

( )

- 4) あなた自身が、将来取得してみたい資格、参加してみたい研修を教えてください。実際には、ない研修でも結構です。(例：〇〇〇〇を学びたいでも結構です)

( )